

# アプリケーションノート - モニタリングプラットフォームでサイトレイアウトエディタを使用

## バージョン履歴

- バージョン 1.0 (2020 年 11 月) - 初版

## はじめに

このアプリケーションノートは、アカウント管理者またはアカウントマネージャーの権限を持つユーザーによる使用を意図されています。他のタイプのユーザーはこのアプリケーションノートに記載された機能にアクセスすることはできませんのでご注意ください。サイトの物理的なレイアウトは、サイトの各コンポーネントを客観的に見ることができ、サイトでの診断をより簡単なものにし、より有益に、より正確に操作を行うことができます。サイトのレイアウトエディタは、SolarEdge の Designer の実績あるワークフローを採用し、合理化された直感的なレイアウト作成とマッピングプロセスを提供します。

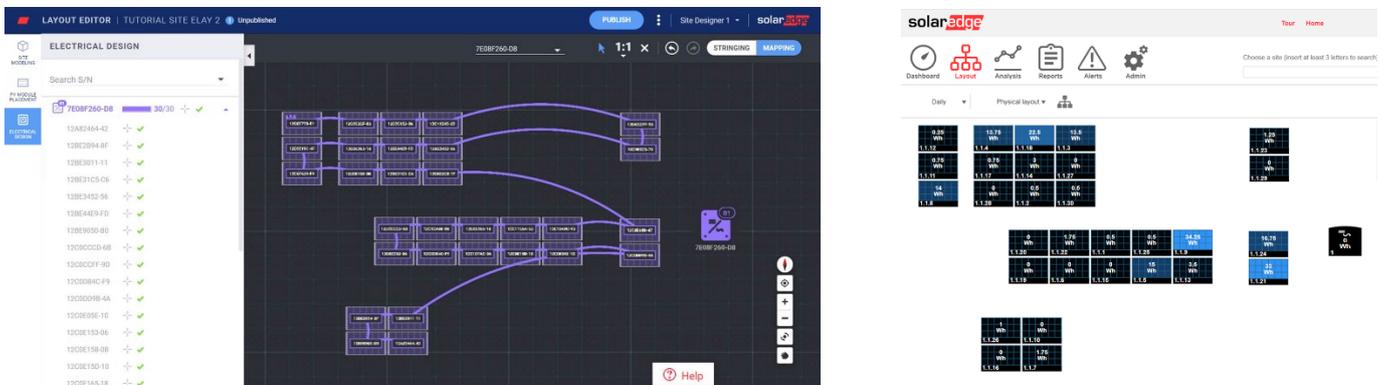


図 1: レイアウトエディタ (左) とモニタリングプラットフォーム (右) のサイトレイアウト

## SolarEdge のソフトウェアスイートを使用した効率的な PV プロジェクトのライフサイクル

レイアウトエディタは SolarEdge のソフトウェアスイートとのシームレスな統合を強化し、構想から設置、リモートメンテナンスに至るまでの、太陽光事業全体を通して作業を効率化し、大幅な時間の節約を実現します。でサイトシミュレーションを作成することから開始してください。これにより SolarEdge の住宅用及び商業用システムを計画、構築、検証することができます。つづけて、設計をモニタリングプラットフォームサイトとしてエクスポートします。設置が完了したら、サイト情報とレイアウトが自動的に含まれているレイアウトエディタを使用して、マッピングを使用してサイトのコンポーネントをマッピングします。最後に、モニタリングプラットフォームを使用して、モジュールレベル、ストリングレベル、システムレベルで太陽光発電システムのパフォーマンスを確認することができます。



SolarEdge Designer  
のプロジェクト

プロジェクトをエクスポート



モニタリングプラットフォームのサイト

サイトのマップを作成



レイアウトエディタ Mapper

サイトをモニター



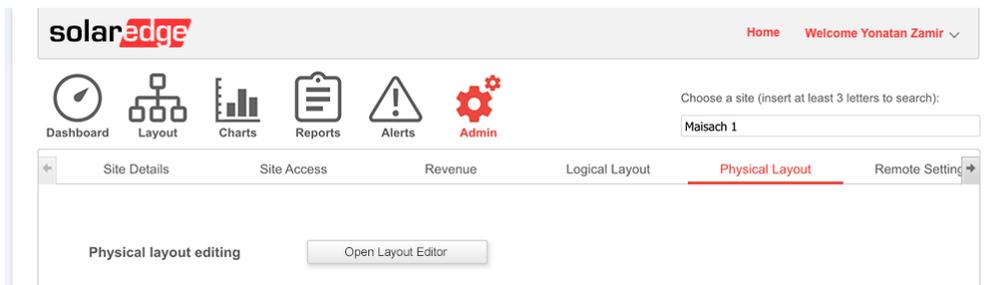
モニタリング プラットフォーム

## サイトレイアウトエディタを使用

レイアウトエディタは、マッピングが必要な場合のサイトのインストール後に新しいサイトを作成したり、既存のサイトを作成したり、既存サイトのレイアウトをコンポーネントの交換などで既存のサイトのレイアウトを編集する必要がある場合などにも使用することができます。

## レイアウトエディタにアクセス

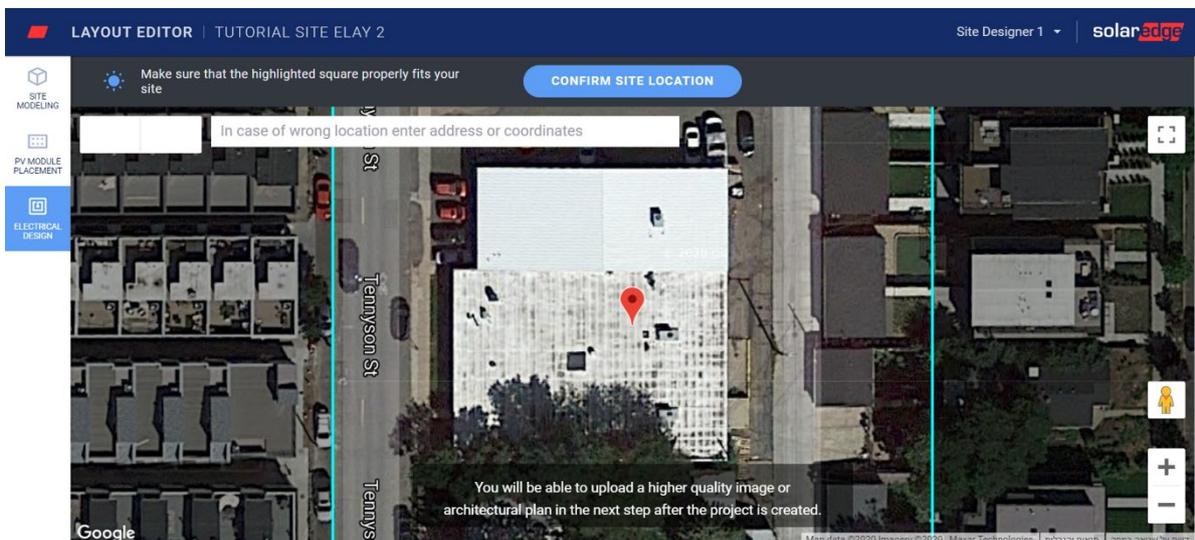
1. ユーザ名とパスワードを使用してモニタリングプラットフォームホームにログイン (<https://monitoring.solaredge.com>)
2. サイトの [管理者] タブに進みます。
3. 物理的なレイアウトを選択してください。
4. レイアウトエディタを開くをクリックします。



## 新しいサイトレイアウトを作成

レイアウトエディタツールが表示されたら、以下のステップに従って、レイアウトを作成し、サイトのマッピングを完了してください。サイトアドレスを確認してください

1. サイト住所を確認し、赤いピンがマップ上で正確なサイトの場所を示していることを確認してください。モニタリングプラットフォームホームからすべての詳細が自動的にインポートされます。



2. 必要に応じて、マップ上でサイトの正確な場所までピンをドラッグしてください。
3. マウスのスクロールホイールを使用して、全体のサイトが青に適合するまでズームインまたはズームアウトを行い、**サイトの場所を確認**をクリックします。

自動的に [PV 配置] タブが表示されるので、そこでモジュールをその物理的な場所に応じて置くことができます。

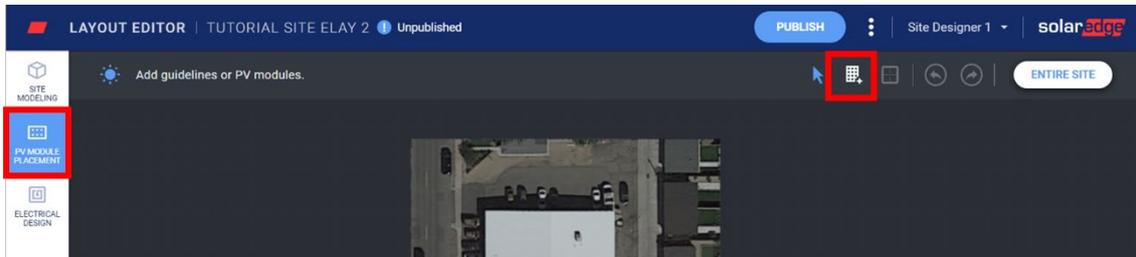
### 注記



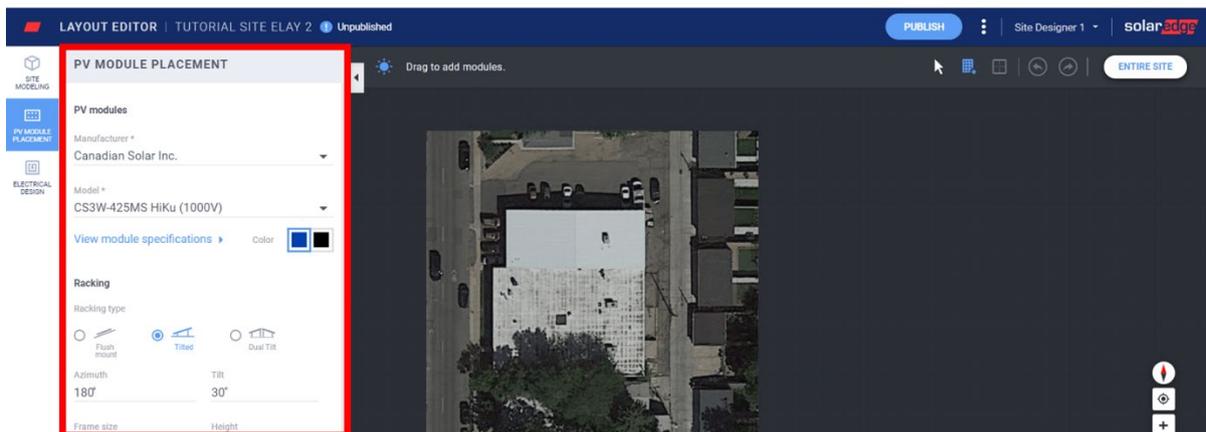
サイトのアウトラインを描画し、その 3D モデルを作成したい場合、[サイトのモデル化] タブに進んでから続行してください。サイトのモデル化はオプションのステップです。

## PV モジュールを配置

1. [PV モジュール配置] タブで、[PV モジュールを追加] をクリックしてサイトにモジュールを置きます。



2. モジュールのメーカーとモデルの情報を確認してください。これらは、モニタリングプラットフォームからインポートして、必要に応じて調整することができます。
3. 傾斜や方位など、架台のタイプを設定してください。



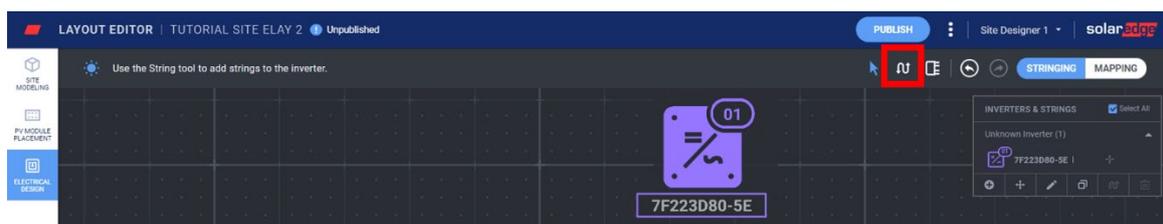
4. マップ上でモジュールをクリックしてドラッグし、サイトにそれらを置いてください。すべてのモジュールを置き終わったら、電気設計をクリックしてください。サイトがモデル化されて、複数の屋根面を持っている場合、各屋根面をダブルクリックしてモジュールをその屋根面に加えてください。

## 電気設計を実行

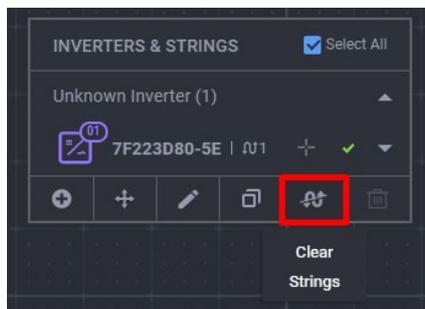
電気設計は2つのステップに分けられます。 **ストリング付け (オプション)**

サイトストリングは、マッピングプロセスの時間を節約し、監視プラットフォームで素早く簡単に障害を検出できるため、非常にお勧めです。 **パワーコンディショナのストリング付けの方法**

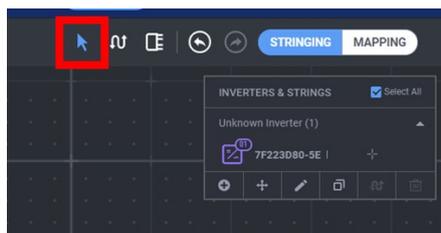
- a. パワーコンディショナを選択し、ストリングツールをクリックしてください。



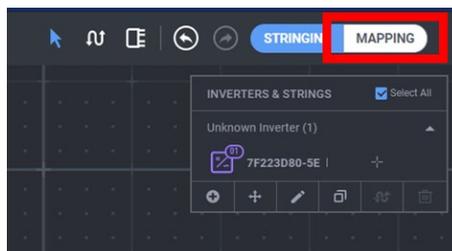
- b. ストリング順にモジュールの上でマウスをクリックしてドラッグします。ストリングを終了するには、マウスを持ち上げるだけです。新しい文字列を追加するには、このステップを繰り返します。
- c. ストリングを削除するには、ストリングクリアツールを使用します。これで既存のストリングが削除されるので、必要に応じてモジュールのストリングを変更することができます。



- d. 必要に応じて、パワーコンディショナアイコンをドラッグングすることによって、キャンバスでパワーコンディショナの位置を変えてください。
- e. 完了したら [選択] ツールをクリックします。

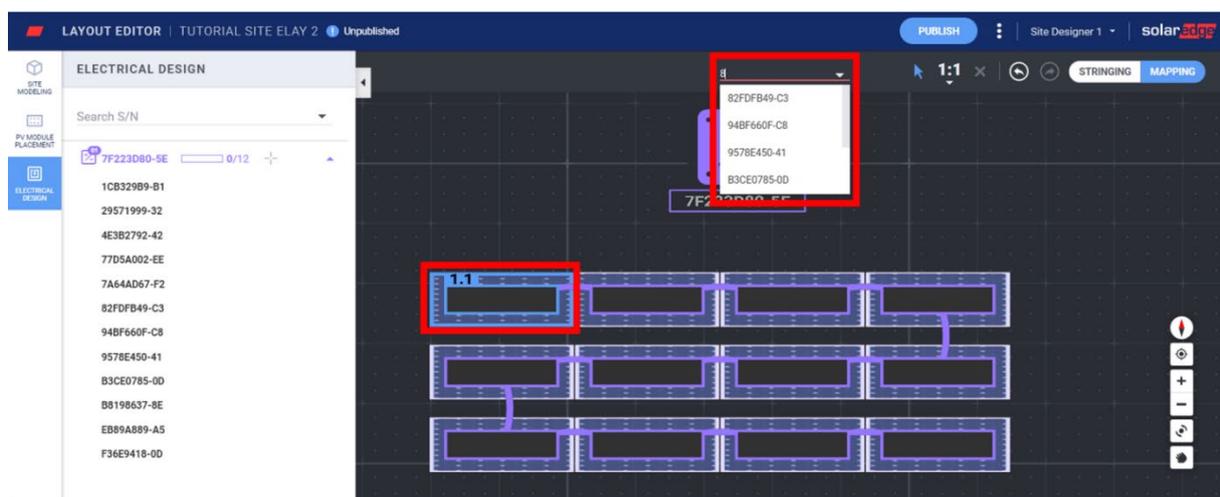


- f. 画面の右上のトグルをクリックして、[マッピング]に進んでください。

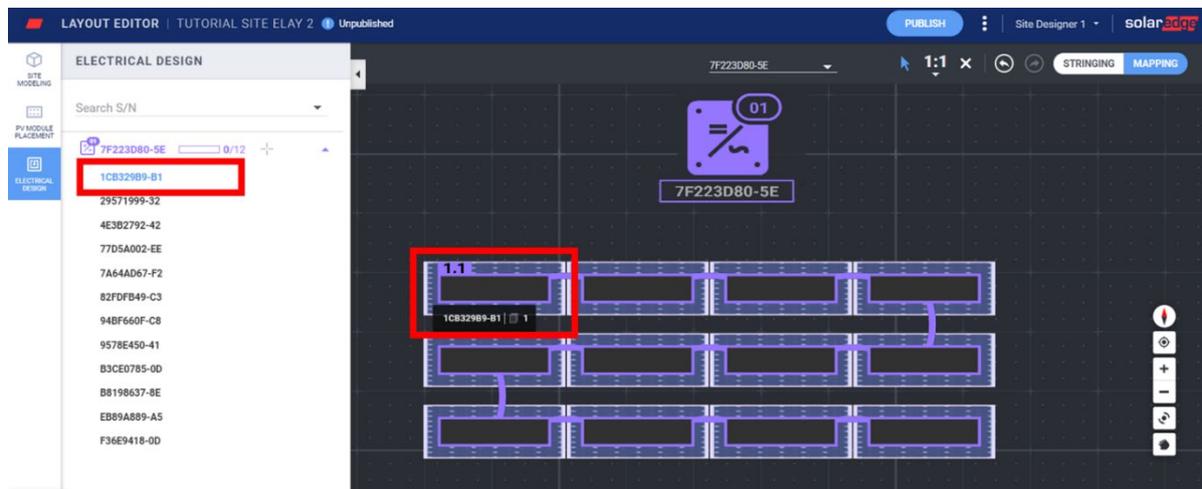


## マッピング

1. パワーオプティマイザのシリアル番号をサイトの位置に割り当てるには、stringingにおける最初のモジュールをクリックしてください。
2. モジュールに接続されたパワーオプティマイザのシリアル番号の入力から開始してください。キーボードを使って上下に移動し、[Enter] キーを押してリストから関連のシリアル番号を選択してください。



stringingの次のモジュールは自動的に選択されるので、次のシリアル番号を入力できます。  
また、インバーターの側面からシリアル番号を選択することによって割り当てることも可能です。シリアル番号をクリックして、それを割り当てる先のモジュールをクリックしてください。



## サイトレイアウトの発行

1. 必要に応じて、ノートを付け加えることで、このバージョンに行われた変更を伝えることができるので、レイアウトバージョンの履歴を簡単に追跡することができます。
2. [発行] をクリックして変更を保存し、それがモニタリングプラットフォームで視覚化されていることを確認してください。

## Designer から、モニタリングプラットフォームにエクスポートされたプロジェクトのサイトレイアウトを作成

SolarEdge のデザイナーを使用して PV デザインを作成し、モニタリングプラットフォームにエクスポートした場合、サイト情報とレイアウトは自動的にレイアウトエディタに含まれます。レイアウトエディタを開くと、既存のサイトモデリング、PV モジュールの配置、ストリングはスキップされ、直接マッピングのステップに移動します。

キャンバス上のコンポーネントにシリアル番号を割り当てる方法については、「[マッピング](#)」を参照して下さい。

## レイアウトエディタを使用して、<sup>1</sup>既存のサイトを編集

レイアウトエディタツールが表示されたら、以下のステップに従って、レイアウトを編集してください。サイトの住所を確認し、赤いピンが地図上の正確なサイトの場所を示していることを確認してください。すべての詳細は、モニタリングプラットフォームから自動的にインポートされます。

2. 必要に応じて、マップ上でサイトの正確な位置までピンを移動してください。
3. マウスのスクロールホイールを使用して、全体のサイトが青に適合するまでズームインまたはズームアウトを行い、[確認] をクリックします。

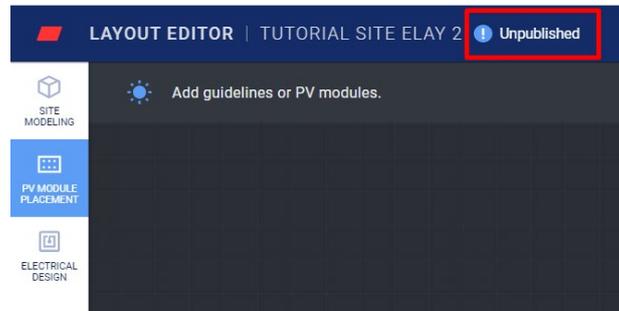
[電気設計] タブの [マッピング] のステップが自動的に開きます。

キャンバス上のコンポーネントにシリアル番号を割り当てる方法については、「[マッピング](#)」を参照してください。

## サイトレイアウトのバージョン

各サイトは 2 つのレイアウトバージョンがあります。下書きバージョン (未発行の変更) – これは、お使いのレイアウトエディタと Mapper アプリで表示されるバージョンです。現場で Mapper アプリを使用している場合でも、オフィスでレイアウトエディタを使用している場合でも、これらの変更は自動的に下書きに保存されます。レイアウトエディタを使用するとき、下書き状態のインジケータが画面の左上に現れます。

<sup>1</sup>既存のサイトとは、モニタリングプラットフォーム中に発行されたレイアウトを持っていて、レイアウトエディタの旧バージョンを使用して作成されたサイト、または Mapper アプリを使用して作成されたサイトのことです。



- 発行済みバージョン – これは、モニタリングプラットフォームの [サイトレイアウト] タブの下に現れるバージョンです。サイトのレイアウトの閲覧権限を持つすべてのユーザーは、公開されたバージョンを見ることができます。サイトのレイアウトの変更が完了したら、公開ボタンを使用して公開することができます。

## サイトレイアウトのバージョンの管理

[発行] ボタンの隣にある点をクリックし、図 15 にある通りレイアウトバージョンを管理します。前回の発行済みバージョンに戻る – 現在の下書きにおけるすべての変更を削除します。そして、前回の既知の発行済みバージョンをモニタリングプラットフォームからレイアウトエディタにインポートします。

- モニタリングでサイトを開く – モニタリングプラットフォームで最新の発行済みのレイアウトを表示する新しいタブを開きます。
- プロジェクトの場所を変更 – サイトアドレスをアップデートします。注：このオプションは、このプロジェクト内のすべてのオプティマイザ、モジュール、サイトモデルが削除されます。サイトの場所を変更する前にこのレイアウトを発行することをお勧めします。これにより、最後に公開されたバージョンからの変更が削除されるのを防ぐことができます。

